

美濃加茂市・坂祝町  
生涯学習推進基本構想・基本計画（案）

平成24年2月  
美濃加茂市・坂祝町

## 【目 次】

I	計画の策定にあたって	
1	計画策定の趣旨と背景	2
2	計画の概要	4
3	本計画における生涯学習の捉え方	5
4	美濃加茂市と坂祝町の取組の状況	8
II	生涯学習推進基本構想	
1	計画の基本目標	13
2	施策の方向性	14
3	施策の体系	16
III	生涯学習推進基本計画	
1	基本計画	17
	学習機会の充実	
	1) ライフステージに応じた学習の推進	17
	2) 現代的課題に関する学習の推進	21
	3) 文化・スポーツ部門の振興	25
	学習環境の整備	
	1) 学習情報の提供・学習相談の充実	27
	2) 学習環境の整備推進	30
	人と人をつなげる環境の整備	
	1) 生涯学習における人材の育成	35
	推進体制の整備	
	1) 推進体制の整備	38

## I 計画の策定にあたって

### 1. 計画策定の趣旨と背景

美濃加茂市と坂祝町は、これまで、それぞれ独自の方針に基づいて住民の生涯学習環境を整備してきました。

国においては、平成8年の生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実方策について」をはじめ、平成11年の生涯学習審議会答申「学習の成果を幅広く生かす～生涯学習の成果を生かすための方策について」、平成12年の生涯学習審議会答申「新しい通信情報技術を活用した生涯学習の推進方策について～情報化で広がる生涯学習の展望～」など、各種施策や実践的テーマに即した答申が出されてきており、これらを受けて具体的な施策の展開が図られています。

さらに、中央教育審議会生涯学習分科会は、平成16年に「今後の生涯学習の振興方策について」（審議経過の報告）を発表し、国民全体の人間力の向上や新しい「公共」の視点の重視などを盛り込んだ今後の生涯学習振興方策の基本的な方向を打ち出しています。

そして平成20年の中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会を目指して～」では、地域の社会構造の変化や社会全体の変容に対応しうる総合的な知の創造の必要性が述べられており、国民一人ひとりの生涯を通じた学習への支援と社会全体の教育力の向上を目指し、人々の学習成果が新たに生み出されてくる学習需要と結び付けられることで活用されていく「知の循環型社会」の構築が提言されています。

また、岐阜県においても、平成19年に「岐阜県生涯学習振興指針～地域づくり型生涯学習の推進～」が策定され、県内の生涯学習の現状と課題を整理するとともに、「地域づくり型生涯学習」を推進するための施策の方向を明らかにしています。

生涯学習振興をめぐる今後の方向性が国や県において打ち出される中で、美濃加茂市と坂祝町は、より快適で幸福な暮らしを実現し、両市町に住む一人ひとりが住んでよかったと実感できる「自立循環型のふるさと定住圏」の形成を目指す「定住自立圏構想」に基づいた「定住自立圏の形成に関する協定書」を平成21年に締結し、協定にうたわれた共生ビジョンを実現すべく、さまざまな施策を展開しており、こうした「定住自立圏構想」の一環をなすものとして、生涯学習の環境整備を進める必要性が生まれています。

そこで、生涯学習全般の推進に関しては、両市町として「生涯学習機会の充実」をビジョンとして掲げ、公共施設の利便性の向上を図ることにより、圏域住民の生涯学習等の活発な活動を促進するとともに、魅力的な人と地域をつくることを目的として、多様で豊富な学習機会と指導者に関する情報の収集及び提供、適切な生涯学習相談の実施などを促進することになっています。

さらに、学習成果の活用という点に関して、美濃加茂市と坂祝町は、地域の課題解決に向けて自己の知識や経験を活かしながら地域づくりを実践していく「地域づくり型生涯学習」のモデル事業を平成22年度に共同で実施し、平成23年度も引き続き両市町共同で実施するなど、地域課題の解決に向けた生涯学習の機会を今後も継続して提供していくことになっています。

以上のような生涯学習推進の方向性を踏まえ、美濃加茂市と坂祝町は、それぞれの市町の第5次総合計画との整合性を保ちながら、長期的・総合的な見地から住民の多様な学習を支援するための生涯学習に関する施策を推進することを目的として、新たに「美濃加茂市・坂祝町生涯学習推進基本構想・基本計画」を策定するものであります。

## 2. 計画の概要

### (1) 計画の位置付け

この計画は、生涯学習推進に向けた美濃加茂市と坂祝町の考え方や取り組みを示す行政計画であり、かつ美濃加茂市と坂祝町それぞれの地域特性を重んじるとともに、両市町が置かれている地域条件を反映させて作成した地域行政計画です。

### (2) 計画の構成

この計画は、生涯学習推進基本構想と生涯学習推進基本計画からなります。

#### ① 生涯学習推進基本構想

美濃加茂市・坂祝町の生涯学習推進に関する基本的な考え方と目標を示します。

#### ② 生涯学習推進基本計画

目標達成に向けた具体的な施策を示します。

### (3) 計画の期間

この計画における期間は、次のように定めます。

① 基本構想の期間は、平成24年度から平成31年度までの8年間とします。

② 基本計画の期間は、平成24年度から平成27年度を前期計画期間とし、平成28年度から平成31年度までを後期計画期間とします。

### 3. 本計画における生涯学習の捉え方

#### (1) 生涯学習とは

平成2年に制定された「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」においては「生涯学習」の明確な定義が示されていたわけではありませんが、その基本的な考え方は、平成2年中央教育審議会から出された答申「生涯学習の基盤整備について」に見ることができます。この答申の中で「生涯学習」は、次のように表現されています。

- ① 生涯学習は、生活の向上、職業上の能力の向上や、自己の充実を目指し、各人が自発的意思に基づいて行うことを基本とするものであること。
- ② 生涯学習は、必要に応じ、可能なかぎり自己に適した手段及び方法を自ら選びながら生涯を通じて行うものであること。
- ③ 生涯学習は、学校や社会の中で意図的、組織的な学習活動として行われるだけでなく、人々のスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動などの中でも行われるものであること。

また、平成16年の中央教育審議会生涯学習分科会における「今後の生涯学習の振興方策について」（審議経過の報告）においては、生涯学習を振興していく上での基本的な考え方が次のように表現されています。

- 「人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような「生涯学習社会」の実現を目指すということを共通認識としている。そうした「生涯学習社会」とは、
- ①教育・学習に対する個人の需要と社会の要請のバランスを保ち、
  - ②人間的価値の追求と職業的知識・技術の習得の調和を図りながら、
  - ③これまでの優れた知識、技術や知恵を継承して、それを生かした新たな創造により、絶えざる発展を目指す社会である。

さらに、平成18年に約60年ぶりに改正された教育基本法では、第3条で次のように生涯学習の理念が示されました。

## 【教育基本法】

### 第3条（生涯学習の理念）

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

生涯学習とは、学習活動それ自体あるいはその成果が、個人の内部にとどまることなく地域の中へ、さらには地域を越えてつながり広がっていく可能性をもっており、そうした「知の循環」が実現するならば、一人ひとりの個人にとどまらず社会全体に豊かさをもたらす可能性が高いといえます。

このような生涯学習についての捉え方を基本としながら、本計画では、生涯学習を幅広い活動を含む包括的な概念として、また、つながり・広がりを通して個人や社会を豊かにしていく概念とすることを基本としながら、生涯学習を推進する施策の展開を図るものとします。

## （2）生涯学習を振興する意義

高齢化の進展や自由時間の増大、生活基盤の整備の進展など、社会の成熟化に伴って現代人の価値観は、物質的な豊かさから精神的な豊かさを重視する方向へと変化しています。

このような成熟社会において、豊かな人生を過ごしていくには、学習やボランティア活動、あるいは生きがいづくり活動などにより充実した時間を過ごし、また、そのことにより自己を高めていく生涯学習が大切となります。

他方、今日の社会においては、所得格差の拡大、少子高齢化、高度情報化、グローバル化などの大きな変化の中で、様々な改革が進められています。

このような変化の激しい社会においては、学校教育における一定期間の学習だけでは不十分であり、自己を成長させて社会と向き合いつつ、常に学習を積み重ねていくことが必要となります。

生涯学習には、「自らの生きがいを求めて自己実現を図っていく自己完結の学習」と「社会との関係の中で自分自身の対応力をつけながら自己を成長させていく学習」という2つの側面がありますが、先に述べたような社会背景のもとで、こうした生涯学

習の二つの側面を同時に実現させていくことの重要性が増しています。すなわち、変化する環境に対応しつつ、生きがいや自分らしさを見失わないことの重要性が非常に大きなものとなっているといえます。

急激に変化しつつある現代の社会は、心のゆとりを失わせる傾向にあるとされ、それが人々に苛立ちや焦りをもたらすだけでなく、人々の欲望をも増幅させる要因になっているといわれています。このような状況の中で、一人ひとりが一生涯を心豊かに生き、そして、人と人とが相互に認め合える社会を築いていくために、生涯学習は大きな役割をもっているといえます。

なお、現在、一般的にいわれていることとして、学歴社会の弊害是正の必要性ということがあります。学歴社会においては、学歴を基準とした画一的な評価となりがちで、個人あるいは個人の学習成果に対して適切に評価がなされない場合も多くあります。そこで、全ての人々が、多様な価値観のもとで適切に評価されていくよう、学力や学歴以外の評価を高め、「いつどこで学んだか」ではなく、生涯学習によって「何をどれだけ学んできたか」、さらには「何ができるか」などの視点で、学歴に偏ってしまった評価を変えていく必要性が大きくなっているといえます。



## 4. 美濃加茂市と坂祝町の取組の状況

### (1) 美濃加茂市の取組の状況

美濃加茂市は、平成21年度から市民の自主的な活動を促進し、時代の要請に応える生涯学習施策を展開するため、生涯学習を所管する部署を教育委員会から市長部局に移管し、生涯学習センター、図書館、地区の交流センターなどにおいて、講座・学級等を実施しています。

また、日常生活や身近な問題の解決に役立つ情報を気軽に学んでいただくため、講師が地域に出向いて実施する「まちづくり出前講座」のほか、市民との協働による生涯学習を推進するため、平成22年度から住民の方が講師となり、講座の企画から運営までを行う「市民企画講座」を新たに実施しています。さらに、みのかも文化の森などで実施される企画講座のほか、健康講座や高齢者の筋力アップ教室など生涯学習主管課以外からも様々な生涯学習機会を提供しています。

### (2) 坂祝町の取組の状況

一方、坂祝町においては、教育委員会所管の中央公民館を中心として、町民大学学習講座や高齢者を対象とした鳩吹大学学習講座などの年間を通じた講座の開催はじめ、多様な講座を実施しています。

また、美濃加茂市の市民企画講座と同様に、平成17年度から住民の方が講師となって実施する「マイセルフ講座」を実施しています。

坂祝町においても、中央公民館に隣接したスポーツドームの特色を活かした様々な健康に関する講座、教室などを実施するなど、教育委員会と首長部局との連携を活かしながら事業を展開しています。

### (3) 生涯学習に関する住民意識調査

平成22年に美濃加茂市と坂祝町の住民を対象として実施した「生涯学習を進めるためのアンケート調査」（以下「生涯学習アンケート」）に基づいて住民の学習状況及び学習意識を類推し、今後の生涯学習を推進する上での留意点を整理します。

#### ① 生涯学習のイメージ

生涯学習のイメージについて質問したところ、「幼児期から高齢期まで生涯を通じて学ぶこと」と回答した割合が一番高く、次いで「趣味や生きがいをつくる活動を

すること」「文化・芸術活動を行うことや教養を高めること」となりました。この結果から、生涯学習は、個人が自身の楽しみや充実・向上を目指して行う、いわゆる「個人の需要」に基づいたものとイメージされる傾向が強いことがわかります。

○「生涯学習」のイメージについて(回答数:1042名・複数回答可)

回 答	実数	割合(%)
幼児期から高齢期まで生涯を通じて学ぶこと	590	56.62
趣味や生きがいをつくる活動をする	544	52.21
文化・芸術活動を行うことや教養を高めること	424	40.69
学んだり活動したことをまわりの人や地域・社会のために役立てること	287	27.54
公民館などで行政が主催する講座や教室を受講すること	281	26.97
健康・体づくりやスポーツ活動をする	249	23.90
気の合った仲間やグループ・サークルで学んだり活動したりすること	233	22.36
カルチャセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室を受講すること	164	15.74
職業に従事する上で必要な知識・技能を身につけること	149	14.30
個人で本・テレビ・パソコンを使ったり先生に学んだり活動したりすること	123	11.80
大学や高等学校・専門学校等の学校で学習すること	71	6.81
その他・わからない	81	7.77

## ② 生涯学習の認知度

「生涯学習」を「知っている」と回答した割合が全体の4割弱に留まっており、特に20代・30代の若い世代において、「生涯学習」の認知度が低いことがわかります。

○「生涯学習」の認知度について

年齢区分	回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	合計
20～29歳	実数	17	53	32	0	102
	割合(%)	16.67	51.96	31.37	0.00	100.00
30～39歳	実数	40	92	32	0	164
	割合(%)	24.39	56.10	19.51	0.00	100.00
40～49歳	実数	44	88	15	0	147
	割合(%)	29.93	59.86	10.20	0.00	100.00
50～59歳	実数	94	80	14	0	188
	割合(%)	50.00	42.55	7.45	0.00	100.00
60～69歳	実数	87	108	25	1	188
	割合(%)	39.37	48.87	11.31	0.45	100.00
70歳以上	実数	96	80	37	3	221
	割合(%)	44.44	37.04	17.13	1.39	100.00
無回答	実数	2	0	0	2	4
	割合(%)	50.00	0.00	0.00	50.00	100.00
全体	実数	380	501	155	6	1,042
	割合(%)	36.47	48.08	14.88	0.58	100.00

③ 現在の生涯学習活動率

現在行っている生涯学習活動の分野について質問したところ、「趣味・芸術」、「健康・スポーツ」に関するものが高い割合を占めていることが明らかになりました。このことは、これまで両市町で取り組まれてきた生涯学習や社会教育の活動が、趣味・芸術や健康・スポーツ分野が中心となっていることを示しています。

○現在行っている「生涯学習」の分野について(回答数:1042名・複数回答可)

回 答	実数	割合(%)
趣味や芸術に関するもの	245	23.51
健康・スポーツに関するもの	227	21.79
各種資格取得等、職業上必要な知識・技術	171	16.41
料理、洋裁等家庭生活に役立つ知識・技能	150	14.40
パソコンなどの情報化社会に対応するための知識・技術	110	10.56
育児、教育問題等子育てに関するもの	88	8.45
ボランティア・NPO活動やまちづくりに必要な知識・技能	81	7.77
文学・歴史などの文化や自然科学の教養に関するもの	77	7.39
外国語の会話など国際交流・国際理解に関するもの	40	3.84
その他	20	1.92

④ 今後の生涯学習必要認知度

今後何らかの生涯学習に取り組む必要があると回答した人の割合が7割近くとなっています。この傾向を分析したところ、現在、生涯学習活動を行っている人の方が、今後、生涯学習を必要と考える傾向が高くなっています。今後は、「現在は生涯学習に取り組んでいないが、今後取り組む必要があると考えている人」を、いかに実際の生涯学習活動に取り組んでいただくことができるかが重要だといえます。

○今後の「生涯学習」の必要認知度について

区 分		今後、生涯学習活動が		合計
		必要である	必要でない	
現在、生涯学習活動をしている	実数	402	150	552
	割合(%)	72.83	27.17	100.00
現在、生涯学習活動をしていない	実数	311	179	490
	割合(%)	63.47	36.53	100.00
合 計	実数	713	329	1,042
	割合(%)	68.43	31.57	100.00

⑤ 必要とされる生涯学習の分野

また、今後どの分野で学習や活動に取り組む必要があるかを質問したところ、「健康・スポーツ」分野の割合が最も高く、ついで「趣味・芸術」に関するものでした。特に「国際交流・国際理解」「ボランティア・NPO・まちづくり」「情報化」の3分野については、現在、取り組んでいると回答した比率に比べ、今後取り組む必要があると回答した比率が著しく高いことが明らかになりました。これらの分野については、現在の学習活動率が必ずしも高いとはいえないものの、喫緊に取り組み、解決していくことが求められる現代的課題といわれるものであり、今後、充実させていくべき分野であるといえます。

○今後必要とされる生涯学習の分野について(回答数:1042名・複数回答可)

回 答	実数	割合(%)
健康・スポーツに関するもの	347	33.30
趣味や芸術に関するもの	327	31.38
パソコンなど情報化社会に対応するための知識・技術	242	23.22
各種資格取得等、職業上必要な知識・技術	228	21.88
ボランティア・NPO活動やまちづくりに必要な知識・技能	217	20.83
料理、洋裁等家庭生活に役立つ知識・技能	201	19.29
外国語の会話など国際交流・国際理解に関するもの	188	18.04
文学・歴史などの文化や自然科学の教養に関するもの	162	15.55
育児・教育問題等子育てに関するもの	161	15.45
その他	22	2.11

⑥ 生涯学習とまちづくり

生涯学習とまちづくりがどのように結びつくべきかを質問したところ、最も高い割合であったのは、「高齢者や障がい者などが暮らしやすい『まちを』をつくること」でした。次いで「子どもを産み育てやすい『まち』をつくること」でした。特に高い割合を占めた高齢者や障がい者、子どもに対するケアが行き渡った「まち」を目指した生涯学習を推進することを住民が求めていることがわかります。

○生涯学習と「まちづくり」について(回答数:1042名・複数回答可)

回 答	実数	割合(%)
高齢者や障がい者などが暮らしやすい「まち」をつくること	629	60.36
子どもを生み育てやすい「まち」をつくること	596	57.20
「安全・安心のまちづくり」(防犯・防災)を進め、住民の連帯感に満ちたコミュニティをつくること	573	54.99
住民と行政が対等な立場で協働して地域・まちづくりを進めること	438	42.03
人と自然が調和した持続可能な社会をつくること	394	37.81
新たな産業を起こしたり誘致して住民の働く場を増やしていくこと	387	37.14
商店街を活性化して中心市街地のにぎわいを回復すること	381	36.56
生涯学習やスポーツ、文化活動による住民の生きがいづくりを進めること	339	32.53
差別や偏見のない、さまざまな立場の人々の人権が尊重された共生社会をつくること	338	32.44
他市町村に誇ることができるブランド(物やサービス)を開発すること	254	24.38
創造的な人材を育成する学校教育・生涯学習の仕組みをつくること	222	21.31
その他	34	3.26

## Ⅱ 生涯学習推進基本構想

### 1. 計画の基本目標

#### 【基本目標】

### 学びを深め、生涯学習の成果を 活かした地域づくり

生涯学習とは、自己の生きがいづくりや充実した生活のため、「学び」を通して、教養を高めるとともに、職業に関わる新しい知識・技術を獲得することでもあります。これは、生涯学習アンケートの結果から、生涯学習のイメージが「幼児期から高齢期まで、生涯を通じて学ぶ」や「趣味や生きがいをつくる活動をする」と回答した人の割合が多いことからもうかがえます。

一方で生涯学習には、学んだり活動したりしたことを、まわりの人や地域社会のために役立てるといふ、「まちづくり・地域づくり」という側面もあり、徐々にではありませんが、美濃加茂市と坂祝町の住民にもこのようなイメージが定着化しつつあります。

今後、人口の減少、高齢社会のさらなる進展が予想される中で、「まちづくり・地域づくり」は継続して追求されるべき課題であり、どのような時代背景にあっても、住民が安全、安心で心豊かな生活を享受できる「まちづくり・地域づくり」を目指していくことが重要です。

美濃加茂市と坂祝町は、生涯学習が個人と社会を変えていく幅広い可能性を秘めたものであることを十分認めながら、住民一人ひとりが学びを深め、その成果が社会や地域の中で活かされることで、これまで低下しつつあった地域の力を高め、結果として「まちづくり・地域づくり」につながるよう生涯学習の推進に取り組んでいきます。

そこで、本計画の基本目標を「学びを深め、生涯学習の成果を活かした地域づくり」と定め、基本目標を推進するにあたり、今後、生涯学習と地域づくりを結びつけていくためには、どのような施策が必要であるか、その方向性を明確にした上で、生涯学習の推進を図っていきます。

## 2. 施策の方向性

美濃加茂市では、行政運営の総合的な指標となる美濃加茂市第5次総合計画の中で、「みんながそれぞれの役割をもって活躍できるまちをつくります」という基本目標のもと、「学習情報・相談体制の充実」「学習活動の充実」を、また坂祝町では第5次総合計画において、「豊かな心が育つまちをめざして」という基本目標のもと、「生涯学習活動の活性化」「社会教育施設の有効活用」を、生涯学習における主要な取り組みとして推進することになっています。

美濃加茂市と坂祝町が共同でこの地域の生涯学習を推進するにあたっては、前述の総合計画のほか、その他行政において策定される様々な行政計画との整合性を図りながら、施策を展開していかねばなりません。

そこで美濃加茂市と坂祝町は、生涯学習を推進するにあたって、基本目標である「学びを深め、生涯学習の成果を活かした地域づくり」を実現していくため、次のような方向性のもとで具体的な施策を展開していきます。

### (1) 学習機会の充実

住民が現在取り組んでいる学習内容には、多様な広がりが見られる一方、生涯学習に取り組みたいという意思を持ちながら、何らかの事情により行動につながっていない人も多い状況にあります。そこで、誰もが自発的な意思に基づいて生涯学習のテーマを選択し取り組んでいけるよう、多様な学習機会を提供していくことが重要となりますが、各個人のライフステージや置かれている状況によって直面している課題は多種多様であり、それに応じた学習内容を取り上げていく必要があります。

このような状況を踏まえ、それぞれのライフステージや置かれている状況によって直面するはずの課題に対応した多様な生涯学習の機会を充実させ、住民の生涯学習を支援します。

### (2) 学習環境の整備

学習機会を充実させていく上で、生涯学習・社会教育施設が果たすべき役割が今後ますます重要性を増していきますが、中でも生涯学習・社会教育施設が地域課題の解決に資するような学習機会を一層充実させていくことが特に望まれます。

しかし、個々の生涯学習・社会教育施設単独では提供できる学習機会等に限界があることから、他の生涯学習・社会教育施設や関係施設及び関係団体・NPO等と積極的に連携しネットワーク化を図り、生涯学習の重要性についての共通認識を持

つことが重要です。

そこで、住民がそれぞれの目的に応じ自主的に学習できるようにするため、学習機会や学習人材に関する情報を体系的に集約し、学習する機会を容易に知り、また、選択できるよう、情報誌をはじめとする様々なメディアを活用して情報を提供できる環境を整備します。

### (3) 人と人をつなげる環境の整備

生涯学習活動は、単に一人ひとりの個人に学習の成果を蓄積させるだけでなく、それを通して人と人との間の「絆」を形成するものであり、そうした生涯学習を通じた「絆」が作り上げられることで、地域団体やボランティア団体、NPO・市民団体の活動も活性化され、新たなコミュニティが再構築されるはずです。基本目標の「学びを深め、生涯学習の成果を活かした地域づくり」の出発点は、人と人との「絆」づくりであるといえます。

そうした「絆」づくりのため、前述の「学習機会の充実」と「学習環境の整備」に加え、住民の学習や活動が相互に結びつき、影響しあいながら、それらがさらに発展していくことが大切となります。

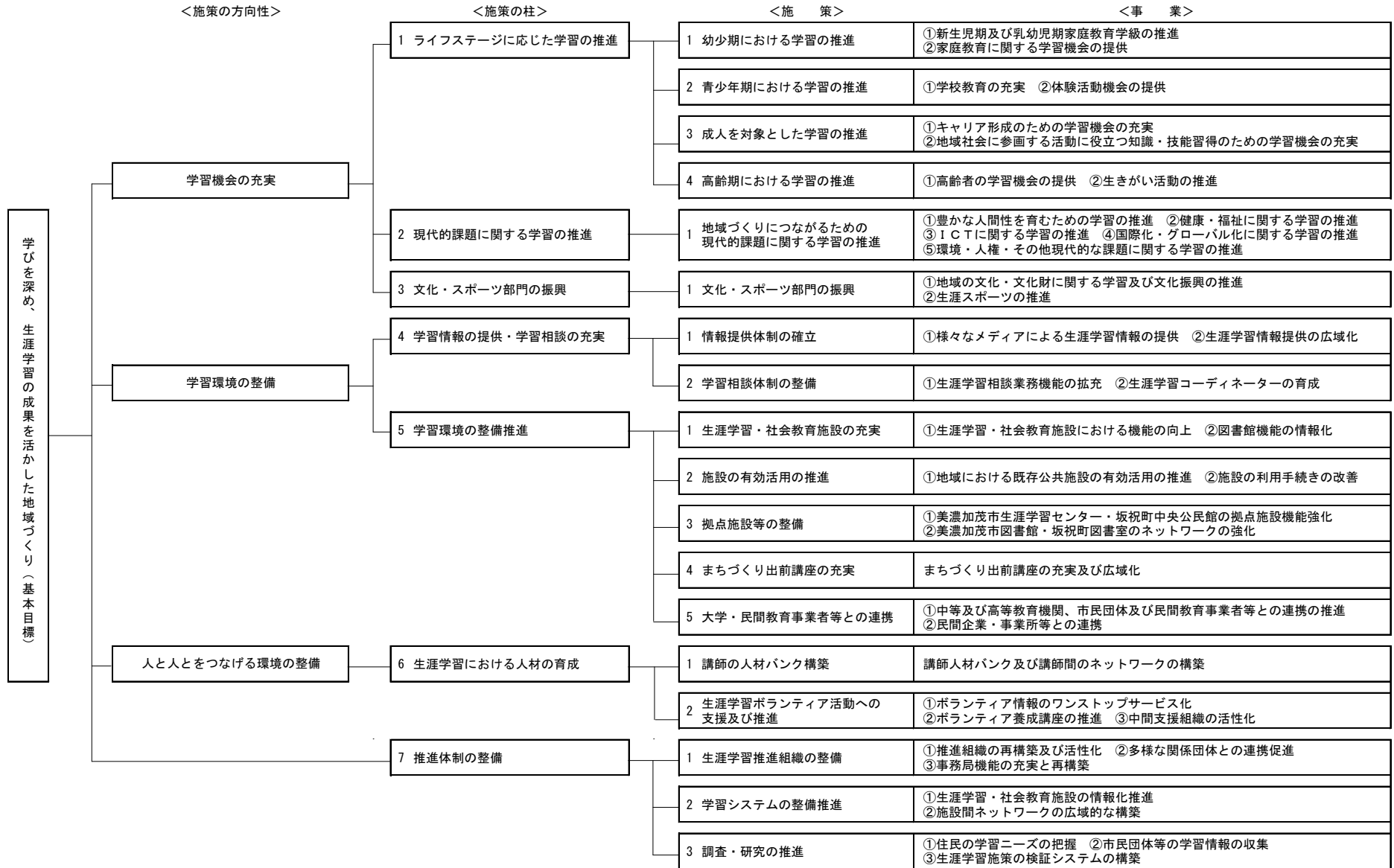
そのために、学習機会の充実や学習環境の整備にとどまらず、学習や活動の機会を探している者と実際の学習機会や活動の場とを適切に結びつけるコーディネーター的な役割を担う人材の育成をより一層進め、生涯学習において住民同士がつながりを築き「絆」をつくっていけるような支援を行います。

### (4) 推進体制の整備

住民の多様で高度な学習ニーズに対応していくため、行政内部の生涯学習・社会教育主管課を中心とした庁内推進組織の活性化を図るとともに、美濃加茂市と坂祝町及び関係機関との連携を強化することで円滑な事業の推進体制の整備を進めます。



3. 施策の体系 前述の方向性を踏まえた施策の体系図は、下記のとおりとなります。



### Ⅲ 生涯学習推進基本計画

#### 1. 基本計画

##### 1 ライフステージに応じた学習の推進

###### 【現状と課題】

人は、生まれてから死ぬまでのそれぞれのライフステージや置かれている個別の状況によって、直面する課題が変化していくため、それに応じて求められ必要となる学習の内容や手法等も変化していきます。

少子化や女性の社会進出など家庭を取り巻く環境の変化や、家庭の教育力低下が叫ばれる中で、幼少期においては、基本的な発達課題が達成されていないなどの問題も表面化してきています。こうした状況に対応するためには、家庭教育に関する学習が重要となります。

青少年期にあっては、青少年が自立への意欲を持ちつつ行動していく力を身に付けるために必要な資質・能力を習得することができるかどうかは、各種の体験活動をどれだけ積み重ねてきたかということと相関関係があると指摘されており、例えば、自然体験活動・社会奉仕体験活動や職場体験活動など様々な体験活動を中心とした学習を積み重ねることが重要となります。

また、成年期にあっては、一度、学校教育を離れた者が職業に必要な知識・技能を学び直すことを容易にする個人のキャリア形成のための学習が重要となっています。

さらに高齢期にあっては、健康上への問題等への対応や、収入・資産を確保し保全する方法、さらには、これまでともすれば疎遠となりがちであった地域社会への参加・参画を促進するプログラムなど、高齢社会において求められ、また必要となる学習プログラムを提供していくことが重要となってきています。

以上のように今後求められ、必要とされるようになる学習の内容や手法は多種多様であり、これまでのように行政が中心となって生涯学習施設等の公の施設において学習機会を一律かつ画一的に提供していくというあり方では、適切な対応ができなくなっています。これからは、高等教育機関や民間教育事業者等と連携し、高等教育機関の高度な専門性や民間の自由で柔軟な発想を生かした学習プログラムの開発を進め、住民に提供していくことが必要となっています。

###### 【基本方針】

それぞれのライフステージにおける学習課題に対応した多様な学習プログラムに

ついて、高等教育機関や民間教育事業者等、様々な主体と連携して提供できる体制を整備します。

【施策の展開】

1-1 幼少期における学習の推進

事業名	概要	主な担当課
①新生児期及び乳幼児期家庭教育学級の推進	○子育て仲間と一緒に学級の企画や運営を行う中で、家庭教育のあり方や子どもとどのように関わっていったらよいかなどの課題を身近なところで学べるよう、新生児や乳幼児とその親を対象とした家庭教育学級を開級します。	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会こども課
②家庭教育に関する学習機会の提供	○主に園児を持つ親を対象に講座や講演会など、家庭教育全般に関する家庭教育講座などの学習機会を拡充することにより、家庭での幼児教育を支援します。 ○子どもたちが健やかに成長し、親が安心して子どもを産み育てられる環境を整えていくための指針である「次世代育成支援行動計画」などとの整合性を図りながら、幼児が育つための環境整備に努めます。	美濃加茂市生涯学習課 美濃加茂市こども課 坂祝町教育委員会こども課

1-2 青少年期における学習の推進

事業名	概要	主な担当課
①学校教育の充実	○子どもたちの現状をふまえ、知識や技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力などの育成	美濃加茂市学校教育課 坂祝町教育委員会教育課

	を重視した新しい学習指導要領に基づき、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成を図ります。	
②体験活動機会の提供	○様々な体験を通して健康な心と身体を育むよう、学校と地域の連携のもと、遊びや創作活動、自然や伝統文化とのふれあい、スポーツ活動等の各種教室を開催します。	美濃加茂市生涯学習課 美濃加茂市スポーツ振興課 美濃加茂市文化振興課 坂祝町教育委員会教育課 坂祝町教育委員会こども課

### 1-3 成人を対象とした学習の推進

事業名	概要	主な担当課
①キャリア形成のための学習機会の充実	○学びたいと思ったとき、また学ぶ必要があると思ったときにいつでも学ぶことができ、従来の職業生活の維持・向上や新たな就業を可能にするために必要な知識や技術を習得することのできる学習機会を関係機関と連携しながら提供します。 ○これまでとは異なるキャリアを選択するための新しい職業的な専門性を身に付けるのに役立つ学習機会や、出産・子育てなどにより一定期間就業を中断した後、職業に復帰するのに必要となる知識や技術を習得するための学習機会の提供を行います。	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課

②地域社会に参画する活動に役立つ知識・技能習得のための学習機会の充実	○地域社会に参画するのに役立つ知識や技能を習得するための学習プログラムとして、市民・町民大学など年間を通じた形態での講座等を開講します。	美濃加茂市生涯学習課 美濃加茂市地域振興課 坂祝町教育委員会教育課
------------------------------------	--	---

#### 1-4 高齢期における学習の推進

事業名	概要	主な担当課
①高齢者の学習機会の提供	○高齢期における生活を安全・安心で充実したものにできるよう、高齢者向けの様々な学習プログラムを取り入れた市民・町民大学を開講するとともに、そこで習得された学習成果を地域に還元することができる機会を積極的に情報の提供していくことで、高齢者の地域活動、交流の推進を図ります。	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課
②生きがい活動の推進	○健寿会等の高齢者団体や生涯学習施設等におけるサークル団体等による趣味・文化活動や、ボランティア活動の機会をこれまで以上に確保し、高齢者の生きがいづくり活動を支援します。	美濃加茂市生涯学習課 美濃加茂市長寿支援センター 坂祝町教育委員会教育課 坂祝町福祉課

## 2 現代的課題に関する学習の推進

### 【現状と課題】

変化の激しい現代社会においては、数多くの新しい課題（現代的課題）が発生しています。現代的課題には、例えば、近年、高校・大学の新卒者の就職難問題や非正規雇用の増加などの問題があり、生涯を通じて職業能力を高め、新しい知識・技能等を習得していくための環境整備が求められています。また、情報通信機器は、近年、急速に進歩しており、こうした機器の進歩がもたらす人々間の情報格差の問題も懸念されています。さらに、公的サービスの縮減、まちづくり・地域づくり、地方分権など、これまで地域が直面していなかった新たな課題も生じてきています。

このような社会の変化や要請に住民一人ひとりが対応できるようになるためには、住民のニーズに応じて学習を継続することができる教育環境を整備し、住民一人ひとりがこのような社会を生き抜いていくための総合的な力量を身につけていくことを支援する必要があります。

### 【基本方針】

現代的課題は多様かつ複雑で、従来の生涯学習・社会教育振興行政が対応してきた分野を超えたところにまで広がりを見せています。こうした中で、行政が学習機会を提供するというこれまでの常識にとらわれず、住民が自ら学び、かつ共に学びあっていくことができる環境づくりを推進します。

【施策の展開】

2-1 地域づくりにつながる現代的課題に関する学習の推進

事業名	概要	主な担当課
①豊かな人間性を育むための学習の推進	○豊かな人間性を育むため、趣味や文化芸術等に関する多様な学習・活動機会の提供に努めます。	美濃加茂市生涯学習課 美濃加茂市文化振興課 坂祝町教育委員会教育課
②健康・福祉の増進に関する学習の推進	○健康の維持・増進に必要な知識を深めていただくため、成人への健康相談や食生活改善に関する教室、健康教室などの開催を通して、健康に関する学習機会の充実を図ります。 ○高齢者や障がい者の福祉制度について住民が正確な理解を得ていくことができる学習機会の提供に努めます。 ○心のバリアフリー推進のための学習機会の充実を図ることで、高齢者や障がい者に対する住民の理解を一層深めていきます。	美濃加茂市健康課 美濃加茂市福祉課 美濃加茂市長寿支援センター 坂祝町福祉課
③ICTに関する学習の推進	○住民の生活や社会に大きな変化をもたらしている情報通信技術について、それを適切に使いこなしていくリテラシーを習得するための学習機会を、民間情報通信事業者と連携しながら実施します。 ○本当に必要な情報や真実の情報を識別するための判断力、さらには個人情報やプライバシーを守るための技術を身に付けるこ	美濃加茂市生涯学習課 美濃加茂市市政情報課 坂祝町教育委員会教育課 坂祝町総務課



	とができる学習機会の提供に努めます。	
④国際化・グローバル化に関する学習の推進	<p>○外国語習得のための学習機会の充実を図ります。</p> <p>○異文化への理解を通じて自文化を見直し、理解を深めていくことができる学習機会の提供に努めます。</p> <p>○地域での国際交流を図るための学習機会の提供に努めます。</p>	<p>美濃加茂市地域振興課 美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課 坂祝町総務課</p>
⑤環境・人権・その他現代的な課題に関する学習の推進	<p>○ゴミ問題、資源のリサイクル問題をはじめとする環境問題、自然保護、環境保護等、環境全般に関して住民が実践行動に結びつけていくことのできるような学習機会の提供に努めます。</p> <p>○人権について正しい理解を得ることができる講演会などにより、住民の意識啓発を図ります。</p> <p>○まちづくり・地域づくりに必要となる環境問題、防災・防犯、福祉、新しいコミュニティの形成等についての学習機会の提供に努めます。</p> <p>○多様化・複雑化する社会の中で、消費者が安全かつ安心して生活していくための契約に関する基礎知識を習得することができる消費生活セミナーなど、消費生活に関する学習機会の提供に努めます。</p>	<p>美濃加茂市環境課 美濃加茂市地域振興課 美濃加茂市生涯学習課 美濃加茂市防災安全課 美濃加茂市商工観光課 坂祝町総務課 坂祝町住民課 坂祝町教育委員会教育課</p>

### 3 文化・スポーツ部門の振興

#### 【現状と課題】

人々が健康で心豊かな人生を送っていくためには、それぞれの人が「生きがい」をもつことが重要であり、文化活動やスポーツは「生きがい」を見い出していく上で欠かせない分野だといえます。

人々の生活様式や価値観の多様化が進むなか、真にゆとりとうるおいを実感できる心豊かな生活を実現するためには、文化芸術活動に人々が親しんでいくことが大事です。今日、文化芸術活動に対する住民の参加意欲を高めることで、あるいは伝統的な地域文化の価値を見直すことで、文化振興をまちづくり・地域づくりに活かそうという気運が高まりをみせています。こうした文化芸術活動への住民の関心の高まりを受けて、文化振興施策をより一層進めていく必要があります。また、優れた芸術作品などを鑑賞することは、豊かな感性や情操を育むことにつながるため、子どもの頃から文化芸術に直接触れ、親しみ、創造する機会を提供することが求められています。

また、スポーツについては、子どもから高齢者まで多くの住民がスポーツを生活の中に位置づけ、生涯にわたりスポーツを親しむことができる環境を実現することが必要とされ、スポーツ関係団体等との連携による総合型地域スポーツクラブの設立促進や情報提供体制の充実、魅力あるスポーツプログラムの提供、指導者の養成・確保、スポーツ施設の整備充実、競技スポーツの競技力向上など、住民がスポーツに親しむことができる環境づくりが求められています。

#### 【基本方針】

個性的で活気に満ちた地域づくりを促進するため、住民の多彩な文化芸術活動を支援することを通じて文化振興を図るとともに、地域独自の文化の保存・継承・活用、文化交流の活性化を進めます。また、住民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境の構築を図ります。

【施策の展開】

3-1 文化・スポーツ部門の振興

事業名	概要	主な担当課
①地域の文化・文化財に関する学習及び文化振興の推進	<p>○優れた作品を鑑賞する機会、住民自ら文化芸術を創造する機会、その成果を発表する機会により一層の整備を進め、文化芸術活動の振興を図ります。</p> <p>○地域の歴史、文化財等の地域資源・地域文化についての学習機会の提供を行います。</p>	<p>美濃加茂市文化振興課 美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課</p>
②生涯スポーツの推進	<p>○総合型地域スポーツクラブを充実させ、各種の生涯スポーツの教室や大会、レクリエーション活動の機会を拡充し、住民の生涯スポーツの推進を図ります。</p>	<p>美濃加茂市スポーツ振興課 坂祝町教育委員会教育課</p>

#### 4 学習情報の提供・学習相談の充実

##### 【現状と課題】

平成22年度に実施した生涯学習アンケートによれば、住民の生涯学習に関する情報源は、「市・町や県の広報紙」が59.31%、「行政が発行する生涯学習情報誌」が28.79%と高い割合を占めており、定期的にかつ安定的に情報が届けられるようなメディアが情報源とされていることがうかがえます。

生涯学習情報の提供については、現在、毎月1回発行される広報紙をはじめ、両市町の生涯学習情報を掲載した生涯学習情報誌「学びのとびら」を半期に1度発行、両市町各戸に配布していますが、提供している情報はいずれも両市町の情報に限られているのが現状です。

また、学習相談については、現在、美濃加茂市生涯学習センターや坂祝町中央公民館において、職員が平常業務の中で住民の相談に対応していますが、その内容は講座内容の確認や生涯学習活動団体の紹介などに限られています。

したがって、多様化する住民のライフスタイルに対応し、住民が自分に最も適した学習機会や方法を選択し、自発的に学習を行うことができるような環境の整備を行うため、両市町にとどまらず、大学や民間教育事業者等を含む多様な学習情報の提供を行うことができるシステムの構築を進めていく必要があります。

また、住民の学習ニーズに的確に対応するため、高度な知識を持った専門相談員やボランティアなど住民自身が相談を受けていくボランティア相談員を配置し、より効果的な学習相談体制を整備していかなければなりません。

##### 【基本方針】

学習情報提供の重要な情報源となっている広報紙や生涯学習情報誌の内容を充実させるだけでなく、広域性、即効性、即時性に優れ、若年世代の多くが利用しているインターネット等の情報通信ネットワークを活用した、情報提供のあり方を工夫していくことにより、住民により多くの情報を提供することのできる環境を整備します。

また、学習相談体制については、学習機会や学習施設等の「学習・教育資源」と学ぶ者を結び付ける機能の充実を図ります。

【施策の展開】

4-1 情報提供体制の確立

事業名	概要	主な担当課
①様々なメディアによる生涯学習情報の提供	<p>○各市町で発行される広報紙や生涯学習情報誌だけでなく、インターネット等様々なメディアを活用して、住民に対して多様な生涯学習情報を提供します。</p> <p>○現在作成している生涯学習情報誌に加え、生涯学習情報を掲載したホームページを新たに構築し運用を開始します。</p> <p>○住民が多く利用する公共的施設に生涯学習情報コーナーを設置することにより、住民が必要とする情報を気軽に入手できるような環境を構築します。</p>	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課
②生涯学習情報提供の広域化	<p>○多様化・複雑化する住民の学習ニーズに対応するため、新たに構築する生涯学習ホームページにおいて、美濃加茂市及び坂祝町の生涯学習情報に限らず、定住自立圏協定を締結している全町村の情報を掲載することで、生涯学習情報提供の広域化・一元化を図ります。</p> <p>○美濃加茂市と坂祝町で作成している生涯学習情報誌について、定住自立圏協定を締結した全町村に拡大し共同で作成します。</p>	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課

#### 4-2 学習相談体制の整備

事業名	概要	主な担当課
①生涯学習相談機能の拡充	○従来の電話や来館による学習相談だけでなく、電子メールやFAXなどによる相談も可能な生涯学習相談窓口を開設することにより、生涯学習相談機能の拡充を図ります。	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課
②生涯学習コーディネーターの育成	○住民の学習に関する様々な問題や課題に、個別に、かつ、きめ細かく対応し、身近なところから学習を支援していく生涯学習コーディネーターを、両市町共同で実施している「地域づくり型生涯学習講座」修了生を中心に育成します。	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課

## 5 学習環境の整備推進

### 【現状と課題】

生涯学習施設は、個人がそれぞれの学習や活動を通じて知識や技術を高めていく場であるだけでなく、住民の交流や「絆」づくり、さらには地域活動の拠点としても機能しています。

美濃加茂市には生涯学習センター1館と地区の交流センター10館、図書館2館と1分室の生涯学習施設があるほか、中央体育館や西体育館などの社会体育施設等も整備されています。また、芸術・文化の振興を図る観点から文化会館や文化の森が拠点施設として整備されています。

一方、坂祝町には生涯学習施設として図書室を備えた中央公民館が1館あり、またスポーツドームをはじめ、西館、東館などの社会体育施設が整備されています。

生涯学習アンケートによれば、こうした施設の量的整備よりも、両市町が実施する学習・教育事業の質的な充実を求める割合が46.35%と高いことから、住民の学習ニーズに応えた事業をいかに実施するかという「施設の質的整備」が課題となっています。

また、生涯学習は、本来、学習や活動の成果を地域や社会に還元し、地域の持続と発展に寄与・貢献していくという側面を持っていますが、生涯学習活動の成果を生かしたNPO等の地域活動の機会の充実が重要であると回答した割合が、14.97%にとどまっています。この点からすれば、学習の成果を地域に還元していくことができる環境の整備が課題となっています。

### 【基本方針】

施設利用者の利便性の向上に重点を置き、生涯学習施設における定期的な修繕や設備の更新を行うとともに、情報化を推進させることにより、施設の機能性向上を図ります。また、多様な生涯学習活動に対応するため、既存の公共施設の有効活用を推進します。さらには、生涯学習の成果が地域に還元されていく環境の整備を進めます。

【施策の展開】

5-1 生涯学習・社会教育施設の充実

事業名	概要	主な担当課
①生涯学習・社会教育施設の機能の向上	○住民のニーズを把握し、多様な学習に対応するため、定期的な修繕及び設備の更新を行い、施設の機能を向上させます。	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課
②図書館機能の情報化	○既存の図書館資料及び郷土の歴史資料の体系的な電子化・データベース化を推進することで、住民の情報リテラシー（※）の習得を支援し、図書館・図書室等の情報提供拠点としての機能を高めます。	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課

※「情報リテラシー」とは、情報を自分の目的に適合するように使用できる能力をいい、「情報活用能力」や「情報活用力」、「情報を使いこなす力」ともいいます。

5-2 施設の有効活用の推進

事業名	概要	主な担当課
①地域における既存公共施設の有効活用の推進	○公共施設における施設間連携（人・もの・ことの共有化及び複合化）を強化するとともに、隣接する市町の異なる機能を持つ施設間の相互補完利用を促進するなど、生涯学習関連施設ができるだけ多くの住民にとって使いやすいシステムとなるように体制を整備します。 ○地域の生涯学習を推進するた	美濃加茂市生涯学習課 美濃加茂市スポーツ振興課 美濃加茂市文化振興課 坂祝町教育委員会教育課



	<p>め、学校施設の有効利用のほか、地区の集会所などを生涯学習の関連施設として位置づけ、住民の各種の学習会や交流会に利用できるように支援します。また、特定地域の住民だけに限定的に利用されていた施設の開放を進めることにより、住民の学習活動の活性化を図ります。</p>	
<p>②施設の利用手続きの改善</p>	<p>○公共施設予約システムを導入することにより、施設の予約や利用手続きの一元化を進め、住民の利便性の向上を図ります。</p>	<p>美濃加茂市生涯学習課 美濃加茂市スポーツ振興課 美濃加茂市文化振興課</p>

### 5-3 拠点施設等の整備

事業名	概要	主な担当課
<p>①美濃加茂市生涯学習センター・坂祝町中央公民館の拠点施設機能強化</p>	<p>○美濃加茂市及び坂祝町の全域を対象とした高度で専門的な学習機会の企画・運営を行なうとともに、各種公共施設における住民の活動を支援する拠点施設としての機能を強化します。</p>	<p>美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課</p>
<p>②美濃加茂市図書館・坂祝町図書室のネットワークの強化</p>	<p>○システム統合された美濃加茂市図書館と坂祝町図書室の利用拡大を目指し、住民へより一層の周知を図るとともに、周辺の市町村及び高等教育機関との図書館ネットワークの整備を推進します。</p>	<p>美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課</p>

5-4 まちづくり出前講座の充実

事業名	概要	主な担当課
①まちづくり出前講座の充実及び広域化	<p>○日常生活の中で直面している身近な問題の解決などに役立つ情報を気軽に学んでいただくことを目指して開設されているまちづくり出前講座に関して、住民の多様なニーズやライフスタイルに対応した新たなメニューを開発します。</p> <p>○現在、美濃加茂市と坂祝町で実施可能な出前講座について、より一層の周知を図ることで住民の利用の拡大を進めるとともに、定住自立圏協定を締結している他の自治体への出前講座の実施を拡大することにより、住民の学習環境を広域的な観点から整備します。</p>	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課

5-5 大学・民間教育事業者等との連携

事業名	概要	主な担当課
①中等及び高等教育機関、市民団体及び民間教育事業者等との連携の推進	<p>○大学等の高等教育機関や市内の高校、市民団体、民間教育事業者等から市民・町民大学や高齢者大学に講師を招くなどの連携を強化することにより、住民の学習環境を整備します。</p> <p>○大学や市内の高等学校等と連携して公開講座などを開催するこ</p>	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課

	<p>とを通して、多様な学習の場を整備するとともに、専門化・高度化する住民の学習要求に対応します。</p>	
<p>②民間企業・事業所等との連携</p>	<p>○行政機関等だけでは対応できない学習課題について、民間企業・事業所等との連携による講座や教室を実施し、住民の多様なニーズに対応します。</p>	<p>美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課</p>

## 6 生涯学習における人材の育成

### 【現状と課題】

多様な学習機会を提供していくことが求められる生涯学習時代において、幅広い分野の指導者を確保することは、重要な課題の一つです。両市町では住民の自主的な運営による市民企画講座やマイセルフ講座などを実施して、市民・町民の間から生涯学習の指導者の掘り起こしに努めていますが、それぞれの市町が単独で実施していることから、講師及び指導者間の連携体制が築かれるには至っていない現状です。

また、学習者が学習によって得た知識や技能を地域社会における様々な活動の中で活かすことができるようにするためには、すなわち生涯学習の成果が地域社会で活用されるようにするためには、生涯学習分野における人材バンクの構築が不可欠です。

さらに、市民・町民が生涯学習コーディネーターとして生涯学習の諸事業・諸活動をコーディネートして生み出していくためには、講座等の講師、各種行事の協力者に関する人材情報を提供する環境の整備を進めるだけでなく、今後はさらに、学習の成果を十分に活かして活動することができる場についての情報提供を充実させていくことが求められています。

また、生涯学習における学習ボランティア活動の促進を図るために、生涯学習活動の相談にあたる人材の養成や確保等がこれまで進められてきた結果、生涯学習コーディネーターなどの資格を有している人たちがこの地域には比較的多く存在しています。しかし、これらの人たちが地域課題の解決に向けた学習や活動を積み重ね、地域づくり・まちづくり活動に取り組んでいく専門性を備えた継続性のある活動を進めていくためには、公的機関や行政からの支援によって支えられた活動から、民間の非営利団体（NPOなど）としての公益的で自立した活動へと進展していくことも必要です。そこで、生涯学習コーディネーターなどの学習ボランティアが自立して活動を継続していくことができる環境の整備に努めます。

### 【基本方針】

両市町において実施される様々な講座や教育事業などの講師のネットワークを構築するとともに、住民の生涯学習を身近なところから支援する役割を担うコーディネーター等の人材情報を収集することはもちろん、こうした人材を結び付けながら組織的に活動できる体制づくりのための支援を行います。

【施策の展開】

6-1 講師の人材バンク構築

事業名	概要	主な担当課
①講師人材バンク及び講師間のネットワークの構築	<p>○両市町間で講師人材バンクを新たに構築し、学習によって得られた知識や技能を地域社会における様々な活動の中で活かすことができるような環境を整えます。</p> <p>○市民企画講座やマイセルフ講座、その他生涯学習講座を開講した講師間の連携を図るため、新たに生涯学習講師間のネットワークを構築し情報共有を進めます。</p>	<p>美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課</p>

6-2 生涯学習ボランティア活動への支援及び推進

事業名	概要	主な担当課
①ボランティア情報のワンストップサービス化	<p>○両市町の行政機関及び社会福祉協議会と連携を図り、関係機関等が保有しているボランティア情報を集約し、情報提供のワンストップサービスを推進します。</p>	<p>美濃加茂市生涯学習課 美濃加茂市長寿支援センター 坂祝町教育委員会教育課 坂祝町総務課 坂祝町福祉課</p>
②ボランティア養成講座の推進	<p>○身近なところで住民の生涯学習を支える人材や団体を育成するため、ボランティア養成講座の開催を積極的に進めます。</p>	<p>美濃加茂市生涯学習課 坂祝町福祉課</p>
③中間支援組織の活性	<p>○ボランティア活動を行いたい人</p>	<p>美濃加茂市生涯学習課</p>

<p>化</p>	<p>及び団体と活動を受け入れたい人、団体及び施設等の間において、連絡及び調整役を担って両者の活動を支援するみのかも市民活動サポートセンター等の中間支援組織において、学識経験者等を含めた研究会等を立ち上げ、ボランティア活動のより一層の活性化を図るための方策を講じます。</p> <p>○様々なメディアを通じてボランティア活動の内容を紹介することにより、生涯学習ボランティアの活動を支援します。</p>	<p>坂祝町教育委員会教育課 坂祝町福祉課</p>
----------	--	-------------------------------

## 7 推進体制の整備

### 【現状と課題】

生涯学習の推進体制については、国においてはそれまでの社会教育局が生涯学習局（現在は生涯学習政策局）に改組・改編されたのをはじめ、都道府県単位では社会教育課が生涯学習振興課などに改編されています。特に近年は市町村単位でも生涯学習による学びをまちづくり・地域づくりに活かすため、生涯学習や文化振興、スポーツ振興部門を教育委員会から首長部局へ移管する動きが見られます。

美濃加茂市でも平成21年度に生涯学習部門、スポーツ振興部門が教育委員会から市長部局である市民協働部に移管され、生涯学習施策を総合的・効果的に推進していくこととしています。

一方、坂祝町においては、教育委員会教育課において生涯学習、社会教育及び学校教育を一体的に推進しているほか、子育て支援に関わる諸事業を町長部局から教育委員会へ移管するなど新たな動きも見られます。

今後、両市町においては、社会情勢の変化に合わせた柔軟な推進組織を構築し、生涯学習推進体制の活性化を図っていくことが大切になります。

また、定住自立圏構想に基づき、広域的に事業を展開することで、より効率的に生涯学習を推進する必要があります。さらには専門化、高度化した学習ニーズに対応するために、大学等との連携を視野に入れていくことも必要になります。

### 【基本方針】

多様な主体が協働する生涯学習推進組織の立ち上げ、計画の確実な進捗管理を行うための事務局機能の充実など、生涯学習をより効果的に推進することが可能な体制を構築します。

【施策の展開】

7-1 生涯学習推進組織の整備

事業名	概要	主な担当課
①推進組織の再構築及び活性化	<p>○美濃加茂市の生涯学習審議会や坂祝町の社会教育委員会議などこれまで生涯学習や社会教育を調査研究してきた機関相互の連絡・交流の機会を設け、各組織の連携と活性化を図ります。</p> <p>○今日の社会情勢等に柔軟に対応しうる生涯学習推進組織のあり方を検討します。</p> <p>○両市町が全庁的に生涯学習を推進していく体制を強化するため各課に生涯学習推進担当職員の配置などを進め、総合行政としての生涯学習の推進に取り組みます。</p>	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課
②多様な関係団体との連携促進	<p>○多様化・高度化する住民の学習ニーズに対応するため、大学等の高等教育機関や高校等の中等教育機関、市民活動・NPO団体、民間教育事業者、定住自立圏協定を締結した町村との連携を推進します。</p>	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課
③事務局機能の充実と再構築	<p>○多様な連携を円滑に進めながら総合行政として生涯学習を推進していくため、企画調整などの事務局機能について、両市町の連携に留意しつつ充実及び再構築を図ります。</p>	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課



## 7-2 学習システムの整備

事業名	概要	主な担当課
①生涯学習・社会教育施設の情報化の推進	○急速に進歩する情報通信技術に対応しながら、住民の利便性の向上を図るため、美濃加茂市生涯学習センターや坂祝町中央公民館をはじめとする生涯学習・社会教育施設の情報化を推進します。	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課
②施設間ネットワークの広域的な構築	○両市町の施設等における学習事業の実施状況や予約状況等に関する情報を一元的に管理する施設間情報ネットワークを構築することで、各施設の事業実施・情報提供の円滑化を図り、住民の利便性の向上を実現します。	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課

## 7-3 調査・研究の推進

事業名	概要	主な担当課
①住民の学習ニーズの把握	○住民への生涯学習に関する意識調査を継続的に実施し、住民の学習ニーズに的確に対応した学習機会の提供及び学習情報の提供に努めます。	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課
②市民団体等の活動情報の収集	○市民企画講座、マイセルフ講座など市民・市民団体等が企画・実施する学習事業等に関して、市民・市民団体等がいかなる希望や意向を持っているかについ	美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課

	<p>ての情報収集に努め、住民が主役として活躍する生涯学習事業の拡充を図ります。</p>	
<p>③生涯学習施策の検証システムの構築</p>	<p>○本計画に基づいた具体的な施策について、実施後における検証を行うとともに、さらなる効果的な施策を企画・立案していく検証システムを、様々な団体と連携しながら構築します。</p>	<p>美濃加茂市生涯学習課 坂祝町教育委員会教育課</p>